

別紙2

SDICの基本情報

1 SDICについて

(1) 設立の背景

近年、「競争力強化」や「企業価値の向上」といった課題に悩んでいる企業が増えつつあり、それに伴ってSAITEC（埼玉県産業技術総合センター）においてもデザインに関する企業相談が増加傾向となっていた。

多くの企業が容易に解決策を見つけることができず、苦慮されている現状に対応するため、デザイン力を活用し、ブランド構築やイノベーション創出を目指す「デザイン経営*」を柱とした企業支援を行う「SAITEC デザインイノベーションセンター（通称SDIC）」を令和7年8月に開設した。

*「デザイン経営」について（特許庁HP）

https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei.html

(2) 支援理念（「デザインが、経営の力になる。」）

社会情勢・経済環境の急速な変化の中において、経営にデザインを活用することは企業のイノベーション力の向上や競争力の強化につながる。

デザインの力により、商品の強みや可能性を引き出し企業の新たな挑戦を後押しできるよう、製品開発から販路開拓までワンストップで支援を行う。

(3) SDICでの主な支援対象

多種多様なものづくりを行う中小企業へのデザイン支援を実施。

※どのような経営課題を解決できるのか（想定される企業からの相談事例）については、HPや参考チラシを参照。

2 SDICの支援内容について

企業の課題解決をデザインの力によりワンストップで支援するため、SDICでは「支援の4つの柱」に基づき事業を展開している。

【SDIC 支援の4つの柱】

(1) 知る・学ぶ

企業がデザインを知る・触れる入口の機会として、企業がデザインの考え方を学べる各種セミナーやワークショップを開催している。

SDICの所在地である川口をはじめ、熊谷、春日部、さいたま新都心の渋沢MIXなど、県内各地で開催した実績を有する。

セミナーは定期的で開催しているほか、年度の後半期にはデザインのテーマに基づくワークショップをメインとした一連企画「デザインブートキャンプ」を開催。

セミナーやワークショップは、SDICの専属デザイナーが講師を務めるほか、外部の現役デザイナーに講師を依頼してより実践的なテーマで実施することもある。

《参考：過去の主なセミナーテーマ》

- ・「デザインで変わる。中小製造業のためのブランディング入門」
- ・「中小企業にこそ必要な『デザイン経営』コア価値を言語化し、共感と共創を生む方法」
- ・「食とデザイン～デザイン思考で、もっとおいしく？もっと売れる！～」
- ・デザイントークイベント「選ばれる会社になる」

《参考：R7年度のデザインブートキャンプ ワークショップテーマ》

- ・DAY1 製品から商品に成長させるデザインの視点
- ・DAY2 デザイン経営の視点 自社分析から生まれるブランド
- ・DAY3 BtoB の商品開発 ものづくりの基本
- ・DAY4 魅力が伝わる 30 秒のストーリー 自社プロモーションでの動画活用

(2) 相談する

商品開発やデザインの進め方に関する悩みなどに、専門職員が無料でアドバイスを実施する。

《SDIC デザイン相談のポイント》

- ・SDIC にはプロダクトデザインやグラフィックデザインに精通した経験豊富な専属のデザイナーを配置しており、製品開発に係るデザイン（製品企画・コンセプト設計・ブランディングなど）でお困りの中小企業からのデザイン相談に対し、課題の整理や支援の方向性を一緒に検討するとともに、専門的な助言やアドバイスを実施することが可能。
- ・SDIC へのデザイン相談は何回でも無料。
- ・デザイン相談は所内での対面実施を基本としているが、現地訪問やオンラインでのヒアリングなども対応可能。
- ・課題の内容や企業の要望等に応じて、適切な支援メニューを提案・実施する。
- ・デザイン相談の申込は HP のお問合せフォームや、メールにより受け付けている。

《実際の相談事例》

昨年の 8 月にオープンして以来、製品の見た目や使い方、日用品からロボットまでの幅広いプロダクトの話や、Web サイトや SNS などの広報戦略、パッケージやロゴ、カタログまわりの話など、様々な相談に対応。

また、具体的な話ではなく「新商品を開発したいけどどう進めていけば良いか分からない」「今まで社内でデザインを意識したことがなく、商品に対しどのようにデザインを取り入れたら良いか分からない」などの相談にも対応。

SDIC としては、「これってデザインの話？」くらいの段階でぜひ相談に来ていただきたいと考えている。

(3) ともに考える

SDIC のデザイン相談により、企業の課題の整理や解決に向けた方向性などの検討を行った後、必要に応じて商品開発やブランディングなどより具体的な課題解決に向け、企業に SAITAMA デザイナーズバンクの登録デザイナーを派遣し、SDIC とともに伴走支援を行う。

《SAITAMA デザイナーズバンク》

「SAITAMA デザイナーズバンク」では、県内中小企業のデザインに関する課題や困りごとの解決を支援する多様な専門分野のデザイナーを登録している。

登録デザイナーは SDIC の HP 上で公開されており、「プロダクト」や「SNS・広報・PR」など、企業の課題別に検索することが可能。

また、専門分野のイメージが湧きやすいよう、登録デザイナーの制作事例も紹介している。

《登録デザイナーによる伴走支援》

SDIC では、企業の課題に応じた登録デザイナーを派遣し、SDIC の専門職員とともに課題解決を伴走支援する「登録デザイナー派遣事業」を実施している。

SDIC が企業の課題等をヒアリングにより整理し、その上で「SAITAMA デザイナーズバンク」の登録デザイナーの中から適任者を選定・マッチングする。

派遣されたデザイナーはデザインを活用した提案やアドバイスを実施し、SDIC の専門職員とともに課題解決を伴走支援していく。(1 課題あたり最大 10 回まで。企業負担は 1 回あたり 3,000 円。)

まずは SDIC の HP のお問合せフォームや、メールによりお気軽にお問い合わせいただきたい。

●対象者

次のいずれかに該当し、県内に主たる事業所がある方（みなし大企業は除く）

- ①中小企業基本法第 2 条第 1 項に該当する中小企業者
- ②任意グループ（構成員の 3 分の 2 以上を中小企業者が占める場合）
- ③創業を予定している方

《登録デザイナーによる伴走支援の活用事例》

●支援先：食品製造・加工・卸の中小企業

<支援内容>

当初は個別商品のパッケージデザインに関する相談だったが、「上位ブランド・世界観の構築」の重要性を提案し、ブランディングやグラフィック支援を得意とするデザイナーとのマッチングを行った。現在は「登録デザイナー派遣事業」を通じて伴走支援を実施し、経営層と若手社員が一体となり、デザイナーと共に自社の強みや想いを言語化することで、ブランドの世界観づくりに取り組んでいる。

(4) カタチにする

埼玉県産業技術総合センター (SAITEC) で保有している機器を活用して企業の試作品の作成などをサポートする。

《主な試作支援機器》

・レーザー加工機

樹脂・皮革・布などの様々な材料の加工が可能。

非接触で高精度な加工が可能で、製品開発における部品等の試作を通じて、設計形状の確認や機能検証を迅速に実施することができる。

●活用事例

- ・製品筐体の外装やケースの試作加工
- ・ロゴ彫刻による意匠や視認性の確認
- ・看板装飾やギフトボックスの名入れ加工
などのデザイン案の試作や検討

・3Dプリンタ

樹脂を用いて最終製品により近い試作モデルの制作が可能。

●活用事例

- ・製品の試作によるデザイン検証、部品の試作による組み込み検証
- ・生産ラインや研究部門などにおける治具や固定具としての活用
- ・小ロットの射出成型型、ブロー成型型、シリコン型としての実装

3 SDIC の支援の流れについて

具体的な支援の流れについては、HP の「SDIC 支援の流れ」のフロー図やよくあるご質問ページを参照。どの支援についても、まずは SDIC へのデザイン相談や問い合わせからスタートすることになる。

4 参考 URL

SDIC の HP : <https://sdic.pref.saitama.lg.jp/>

SAITEC の HP : <https://www.pref.saitama.lg.jp/saitec/>